

2019年のアニメ市場は初の3,000億円超え

2019年のアニメ市場は3,415億円（前年比134.0%）と大きく伸長し、初めて3,000億円を突破した。

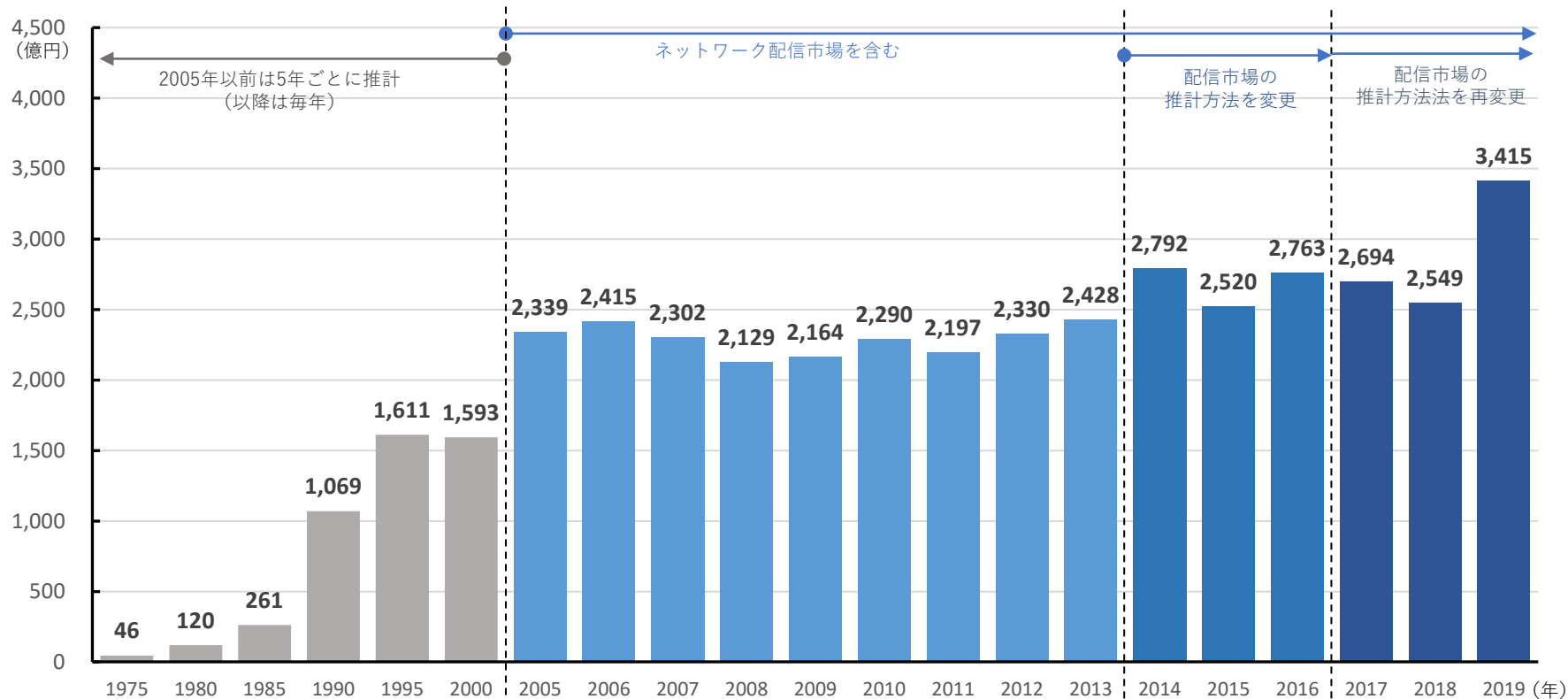
MDRI
Press Release
<2020.11.10>



●要因としては、好調だったアニメ映画と動画配信サービスにおけるアニメ需要の高まりが大きい。特にアニメ映画は、邦画・洋画ともに興行収入100億円を突破する作品*が次々と公開された。

●動画配信サービスは、2020年に話題となった『鬼滅の刃』も2019年に配信されて人気が高まった。『呪術回線』『炎炎ノ消防隊』なども同様のケースとなっており、各サービスともアニメ作品の確保に力を入れている。

*：『天気の子』『アナと雪の女王2』『トイ・ストーリー4』



■アニメーション市場の推移<1975-2021年>

<アニメ市場の範囲>

劇場用／テレビ用／ビデオソフト用（セル／レンタル）／ネットワーク配信用（PC、IPTV、スマートフォン・フィーチャーフォン向け）

注：算出額はユーザー支出レベルで統一。

ただしユーザーが直接支出に関与していない地上波およびBS放送用のテレビアニメに関しては便宜上、製作費を採用。